

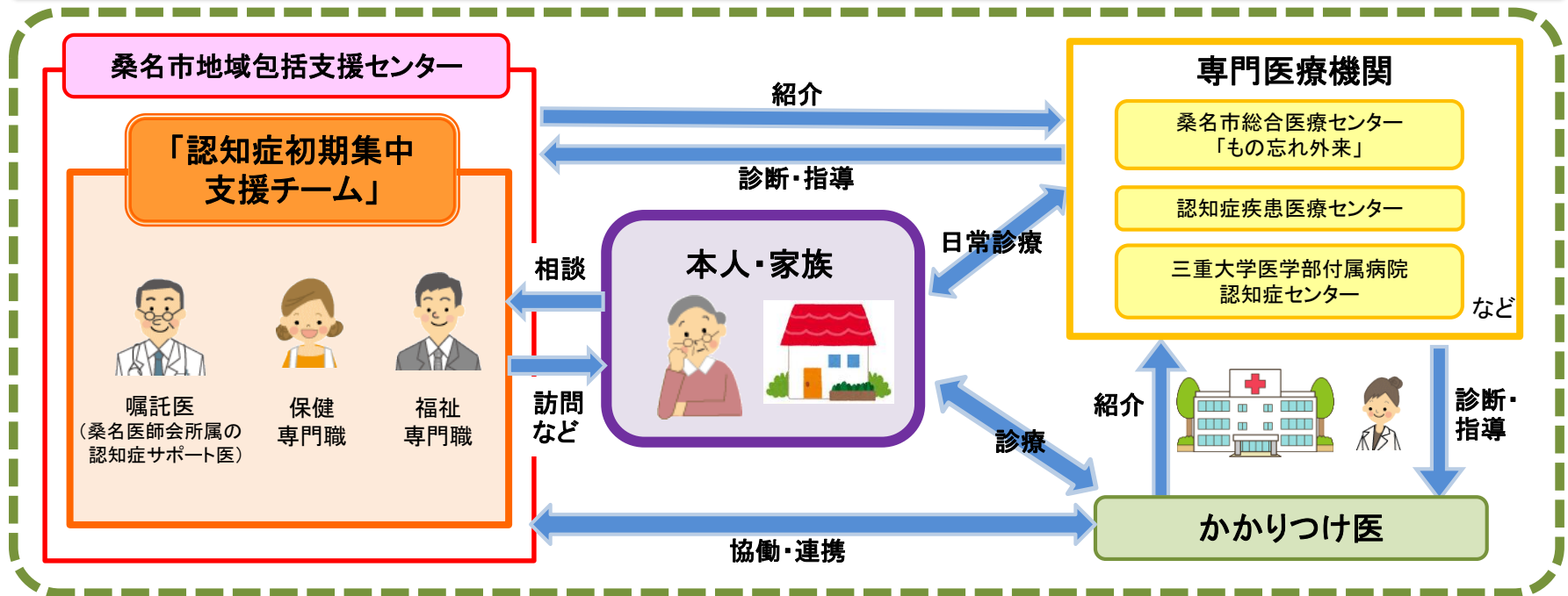
認知症初期集中支援チームの チーム員会議を報道機関に公開します

平成27年4月桑名市では、早期に認知症の診断がされ、速やかに適切な医療・介護が受けられる初期の対応を行うため、認知症初期集中支援チームを設置しました。

○認知症初期集中支援チームとは

- ・ チームは各地域包括支援センターに設置(5カ所)
- ・ チーム員の構成は嘱託医1名、地域包括支援センターの保健専門職、福祉専門職の各1名の計3名
- ・ 認知症が疑われる方や認知症の方で、医療、介護サービスを利用していない方や、認知症の行動・心理症状が顕著で、対応に苦慮している方等とその家族を支援します。
- ・ 専門医療機関、かかりつけ医と連携し支援していきます。

➡ 「事後的な対応」から「事前的な対応」への転換



認知症初期集中支援チームの チーム員会議を報道機関に公開します

《認知症初期集中支援チームの主な業務》

- 訪問支援対象者の把握 : 桑名市日常生活圏域ニーズ調査『いきいき・くわな』を活用し、医療サービス、介護サービスを受けていない方で支援が必要な方を発掘します。
- 訪問等の初期集中支援 : 本人の生活状況や、家族の状況等を情報収集し、認知機能・症状の様子を観察・評価します。その人の状況に合わせ、専門的医療機関や、介護保険サービス利用の説明、本人・家族への心理的サポート、生活環境の改善などを支援します。
- チーム員会議の開催 : 支援対象者の観察・評価内容の確認、支援の方針・内容・頻度等の検討します。
- 引き継ぎ後のモニタリング : 医療機関、介護サービス等につながった後の様子を確認します。

チーム員会議を報道機関に公開して開催します！

日時：平成27年6月4日（木） 16:00～

場所：ひがし胃腸科外科

チーム員会議参加予定者：

＜チーム員＞ ひがし胃腸科外科 東医師

北部西地域包括支援センター 保健専門職・福祉専門職 各1名

内容：チーム員会議のあり方について、ケース支援の検討、支援対象者について、訪問時の観察・評価内容について 等